

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公表番号】特表2008-541711(P2008-541711A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-512701(P2008-512701)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 0 7 K 16/40 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A C

C 0 7 K 16/40

G 0 1 N 33/574 A

G 0 1 N 33/577 B

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 39/395 L

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 49/02 A

A 6 1 K 49/02 C

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a) 腫瘍細胞の表面上に存在するネイティブ形態の前立腺特異的膜抗原に結合し、
 - b) 腫瘍細胞によって内在化でき、
 - c) LNCAP細胞には強力に結合するが、前立腺膜特異的抗原の発現を欠く細胞には結合しないかごくわずかにのみ結合し、そして
 - d) 標識または細胞傷害性薬物と連結され、
 - e) 配列番号：1 および / または配列番号：10 および / または配列番号：20 および / または配列番号：22 のうちの少なくとも10個の連続アミノ酸の部分アミノ酸配列を含むことを特徴とする、
- 単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項 2】

前記モノクローナル抗体（mAb）のPE蛍光強度（MFI）が抗原飽和において1000より高く、かつscFvのPE蛍光強度が抗原飽和において40より高いことを特徴とする、請求項1に記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項3】

1 nM～120nMの間の濃度でPSMA部位のうち50%飽和に達するLNCAP細胞に対する高結合活性を示す、請求項1または2に記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項4】

前記標識が放射線または蛍光線を放射する粒子であることを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項5】

前記細胞傷害性薬物が、毒素からなる群、特にタキソール、緑膿菌外毒素の断片、サイトカラシンB、グラミシジンD、臭化エチジウム、エメチン、マイトマイシン、エトポシド、テノポシド、ビンクリスチン、ビンブラスチン、コルヒチン、ドキシソルピシン、ダウノルビシン、ジヒドロキシアントラシンジオン、ミトキサントロン、ミスラマイシン、アークチノマイシンD、1-デヒドロテストステロン、グルココルチコイド、プロカイン、テトラカイン、リドカイン、プロプラノロール、および/またはピューロマイシンからなる群より選択される細胞毒性物質であることを特徴とする、請求項1～4に記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項6】

さらに、配列番号：2～配列番号：7のうちの少なくとも1つを含むことを特徴とする、請求項1に記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項7】

さらに、配列番号：11～配列番号：16のうちの少なくとも1つを含むことを特徴とする、請求項1に記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分。

【請求項8】

請求項1～7のいずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分を含む、医薬組成物。

【請求項9】

癌の処置のための医薬調製のための、請求項1～7いずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分の使用。

【請求項10】

請求項1～7のいずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分を含む、腫瘍細胞検出のための診断キット。

【請求項11】

請求項1～7のいずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分と、識別されるべき腫瘍細胞とが接触されることを特徴とする、腫瘍細胞のインビトロ識別のための方法。

【請求項12】

腫瘍細胞の診断識別のための、請求項1～7のいずれかに記載の単離されたモノクローナル抗体またはその抗原結合部分の使用。

【請求項13】

配列番号：8、9、17、18、19、21、23および24からなる群のいずれかの配列のうちの少なくとも20ヌクレオチドの連続配列を含むことを特徴とする、単離されたポリヌクレオチド。